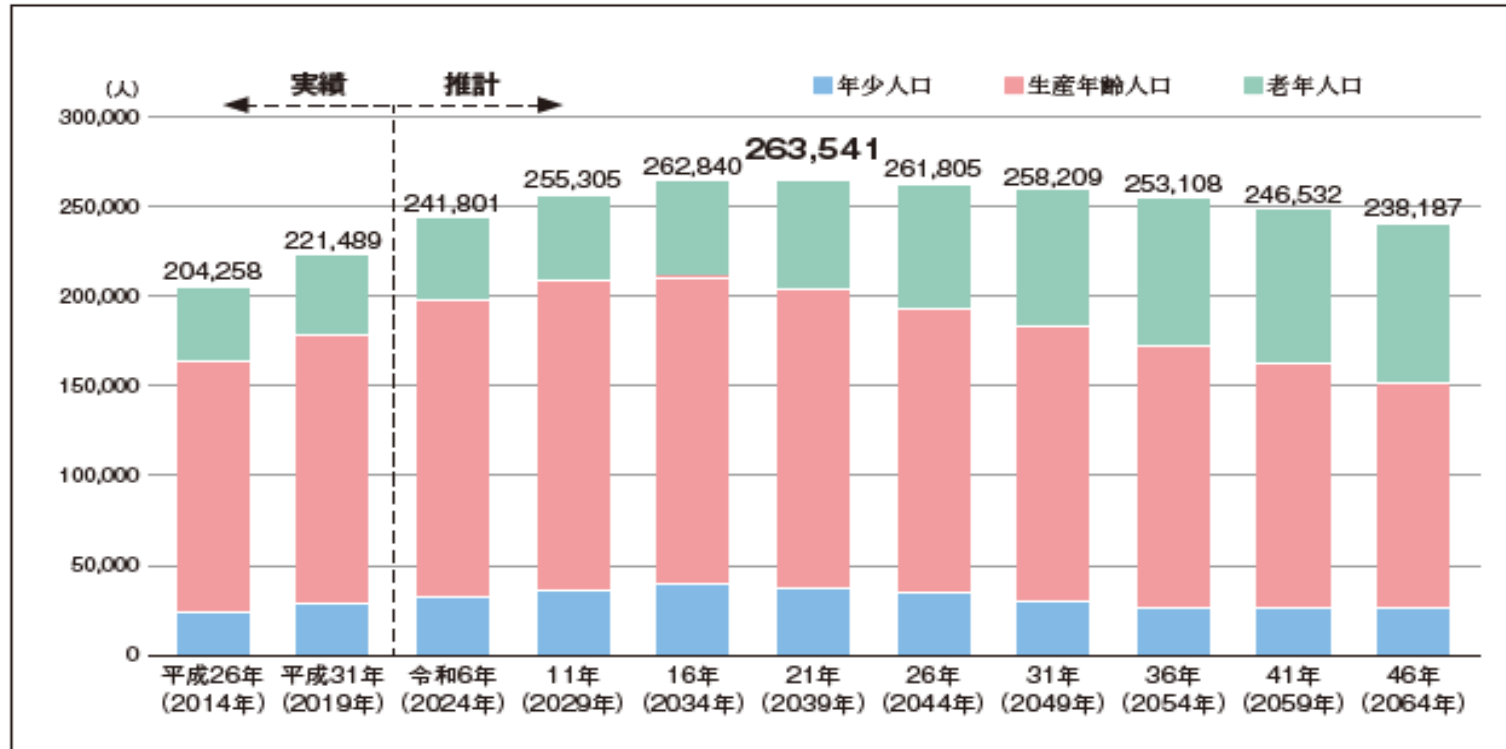


令和2年度 基本構想推進区民協議会 区の概要等について



1 区の概要

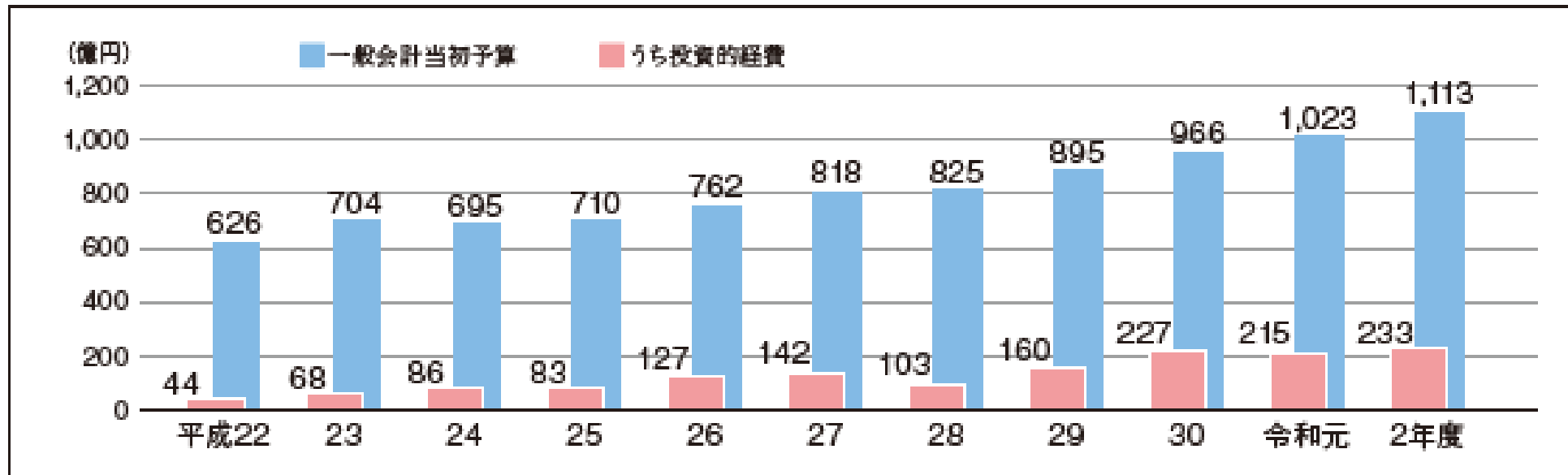
文京区の総人口と年齢3区分別人口割合の推移



- 区の人口は増加傾向にあり、今後も当面の間、増加傾向が続く
- 増加の要因は、転入数が転出数を上回る「社会増」によるものが大きい（近年では、出生数が死亡数を上回る「自然増」でもある）
- 年少人口（0～14歳）は、総人口の約1割を超える割合で推移する
- 生産年齢人口（15～64歳）の構成割合が低下する一方、老年人口（65歳以上）の構成割合が増加を続け、高齢化が今後更に進行すると予想される

文京区の財政状況①

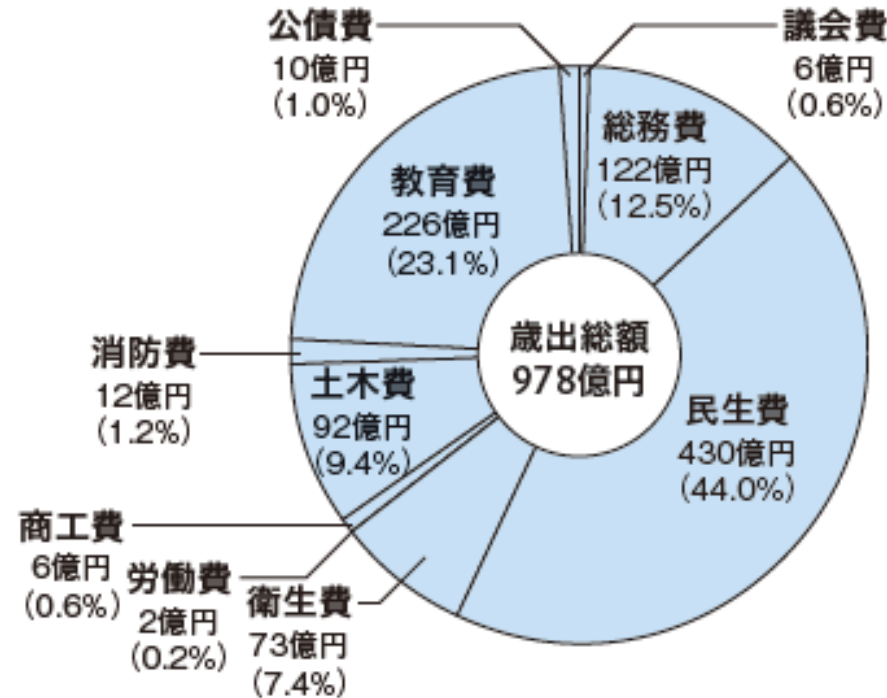
一般会計当初予算の状況



- 令和2年度一般会計当初予算は、1,112億7,000万円となり、初めて1,100億円を超えた
- 平成22年度と比較すると487億円、77.8%の増となっており、年々、予算規模が拡大している

文京区の財政状況②

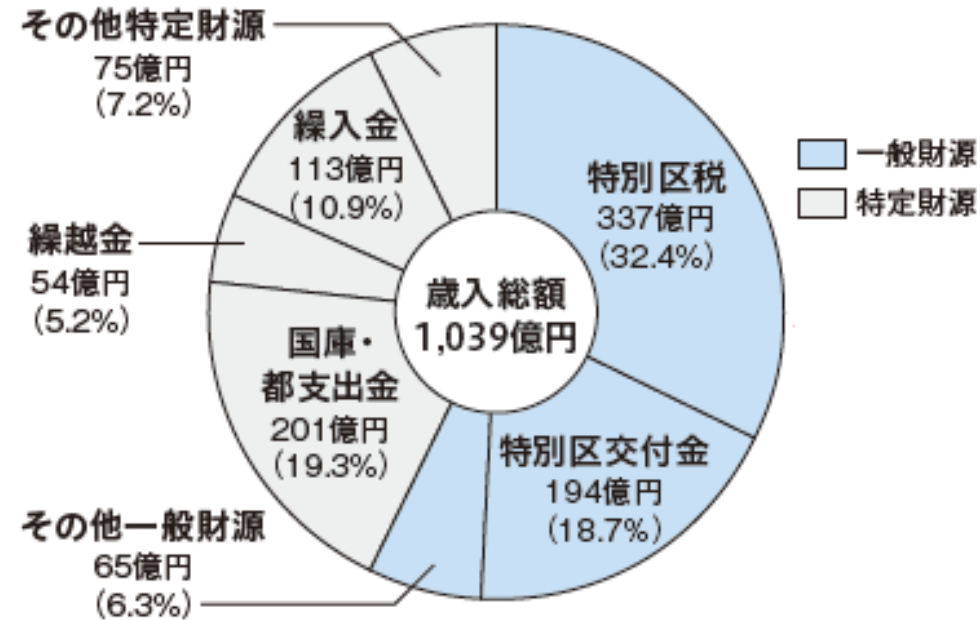
平成30年度普通会計決算（目的別歳出）の状況



- 平成30年度の民生費決算額は430億円であり、歳出全体の44.0%を占める
私立認可保育所の運営補助や高齢者施設の改修工事等により前年度から6.2%増
- 平成30年度の教育費決算額は226億円であり、歳出全体の23.1%を占める
文京スポーツセンターの改修工事や誠之小学校の改築等により前年度から26.3%増₅

文京区の財政状況③

平成30年度普通会計決算（歳入）の状況

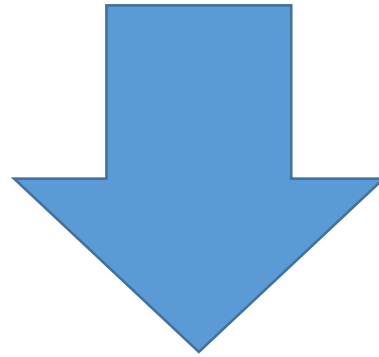


- 平成30年度の一般財源は、一般会計全体の57.4%を占めており、その大半が特別区税と特別区交付金である
- 特別区税は、納税義務者数等の伸びにより23年度から増加傾向にあり、ふるさと納税の影響による減はあるものの、直近は5年続けて300億円を超える収入となった

2 「文の京」総合戦略について

「文の京」総合戦略 策定の背景

社会環境の変化は著しく、様々な社会的要因による
行政需要の変化に対し、自治体の対応力が求められている



行政需要の変化を的確に捉えた区政運営を進めていくための
新しい行政計画として、「文の京」総合戦略を策定

「文の京」総合戦略 策定の背景

『文の京』総合戦略

基本構想

- … ●区が目指すべき将来都市像を明らかにし、その実現に向けた、区政運営の基本的な理念を示す。

基本政策

- … ●基本構想に掲げる将来都市像の実現に向け、各施策を推進するための基本となる考え方を示す。

戦略シート

行財政運営

- … ●計画期間で取り組むべき重要性・緊急性の高い事柄を主要課題として選定し、課題解決に向けて組織横断的に取り組むべきことと、解決手段（計画事業）を明らかにする。
- … ●将来都市像を実現するための行財政運営の基盤整備となる取組の方向性を示す。

年度別事業計画書

- … ●総合戦略の計画事業の概要等をまとめたものとして作成する。

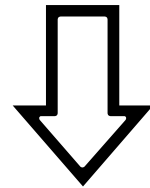
「文の京」総合戦略の基本的な考え方

- 財政的な裏付けを伴う区の最上位計画
- 区の優先課題を明らかにした「重点化計画」に位置付け
- 計画期間：4年間（令和2年度～5年度）
- 持続可能で豊かな地域社会の構築に向けた視点
（S D G s ・ Society5.0）

3 主要課題

「文の京」総合戦略における「主要課題」とは

「文の京」総合戦略の計画期間（令和2年度～5年度）で、**区が優先的に取り組むべき課題**



54の主要課題（戦略シート）を設定

戦略シートとは

それぞれの主要課題について、現状や問題点等をデータを活用しながら示すとともに、計画期間の方向性や、計画事業等、課題解決に向けた計画期間のロードマップを示します。

計画期間(令和2年度～5年度)中は、戦略シートに掲げる4年度の目指す姿に向け、計画事業を実施するとともに毎年度の行政評価や予算編成との連動を図りながら、計画期間中であつても事業を柔軟に組み替えるなど、戦略的な事業展開を図っていきます。

54の主要課題

【基本政策】子どもたちに輝く未来をつなぐ

- 1 妊娠・出産・子育ての切れ目ない支援
- 2 保育サービス量の拡充・保育の質の向上
- 3 子育て支援サービスの安定的な提供
- 4 子どもの発達に寄り添った支援体制の整備
- 5 (仮称)文京区児童相談所設置に伴う総合的な支援体制の整備
- 6 子どもの貧困対策
- 7 子どもの健康・体力の向上
- 8 新しい時代の「学力」向上
- 9 共に生きるための豊かな心と行動力(共生力)の育成
- 10 不登校への対応力強化
- 11 学校施設等の計画的な改築・改修等
- 12 就学児童の多様な放課後の居場所づくり
- 13 青少年の健全育成と自主的な活動の支援



【基本政策】健康で安心な生活基盤の整備

- 14 介護サービス基盤の充実
- 15 在宅医療・介護連携の推進
- 16 認知症施策の推進
- 17 介護予防・地域での支え合い体制づくりの推進
- 18 高齢者の居住安定の支援
- 19 高齢者の見守りと権利擁護
- 20 地域共生社会を目指した総合的・包括的な相談支援体制の整備
- 21 障害者の自立に向けた地域生活支援の充実
- 22 障害者の一般就労の定着・促進
- 23 障害者差別の解消と権利の擁護
- 24 生活困窮者の自立支援
- 25 適正な医療保険制度の運営
- 26 区民の主体的な生活習慣の改善
- 27 がん対策の推進
- 28 総合的な自殺対策の推進
- 29 受動喫煙等による健康被害の防止

【基本政策】活力と魅力あふれるまちの創造

- 30 中小企業の企業力向上
- 31 商店街の活性化
- 32 消費者の自立
- 33 文化資源を活用した文化芸術の振興
- 34 誰もが観光に訪れたいくなるまちの環境整備
- 35 都市交流の促進

【基本政策】文化的で豊かな共生社会の実現

- 36 地域コミュニティの活性化
- 37 図書館機能の向上
- 38 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の推進とレガシーの継承
- 39 男女平等参画社会の実現
- 40 人権と多様性を尊重する社会の実現

【基本政策】環境の保全と快適で安全なまちづくり

- 41 誰もが暮らしやすいまちのバリアフリー化の推進
- 42 安全・安心で快適な公園等の整備
- 43 地域の特性を生かしたまちづくり
- 44 移動手段の利便性の向上
- 45 地球温暖化対策の総合的な取組
- 46 循環型社会の形成
- 47 生物多様性と都市の発展・再生
- 48 地域防災力の向上
- 49 災害に強い都市基盤の整備
- 50 防災拠点機能の強化
- 51 災害時の要配慮者への支援
- 52 地域の犯罪抑止
- 53 管理不全建築物等の対策の推進
- 54 総合的な交通安全対策の推進

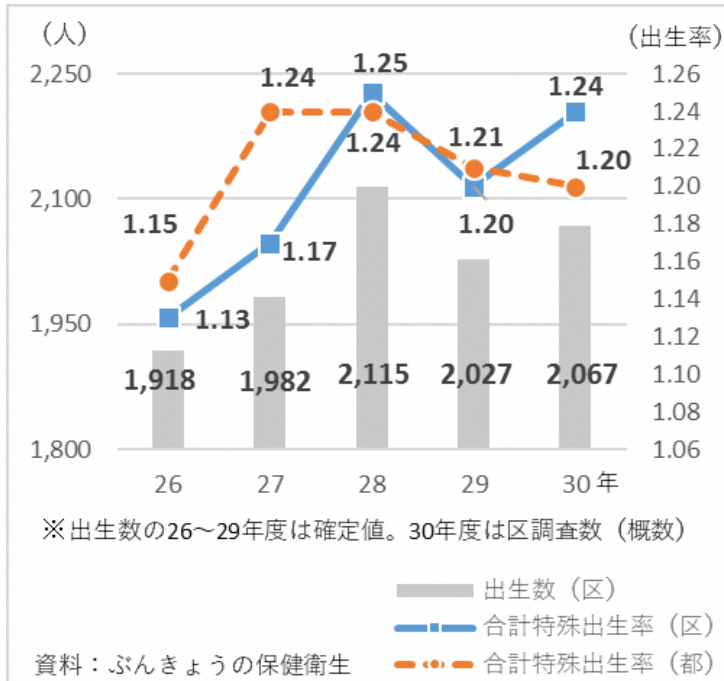
【基本政策1】子どもたちに輝く未来をつなぐ①

【主な現状：子育て】

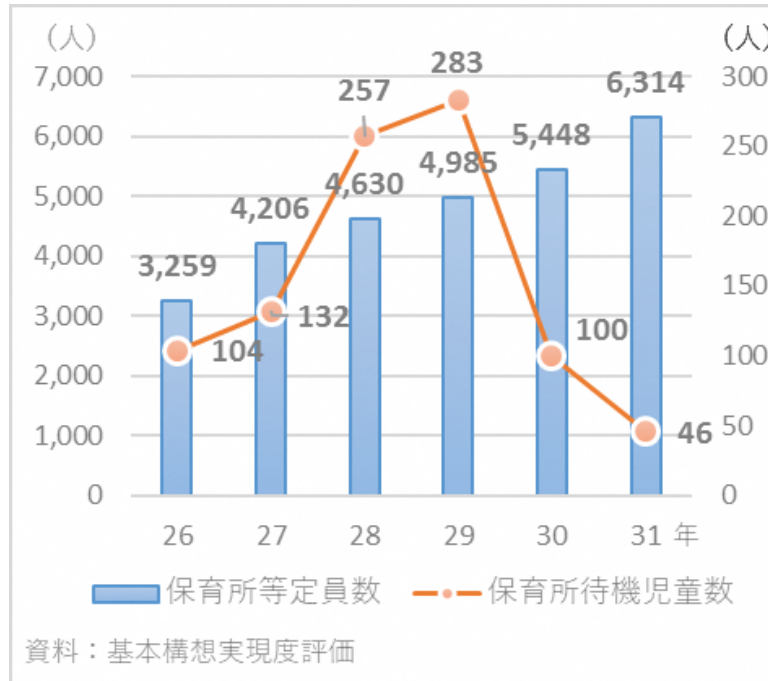
- ◆ 年間約2,000人の赤ちゃんが誕生
- ◆ 保育所等の定員数は5年前の約2倍の6,314人
- ◆ 児童虐待の相談件数は増加傾向



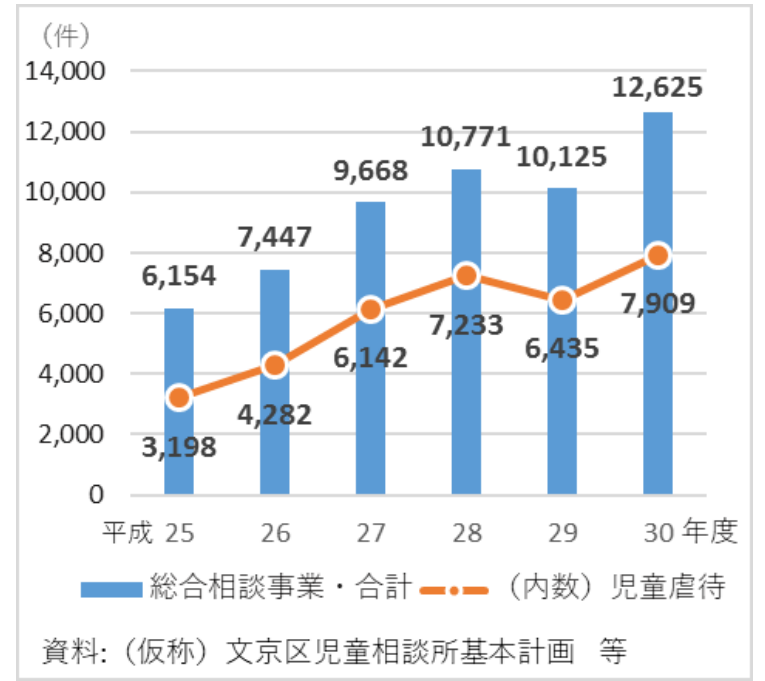
【合計特殊出生率の推移と出生数】



【保育所等定員数及び保育所待機児童数の推移】



【子ども家庭支援センターにおける総合相談事業の実績】



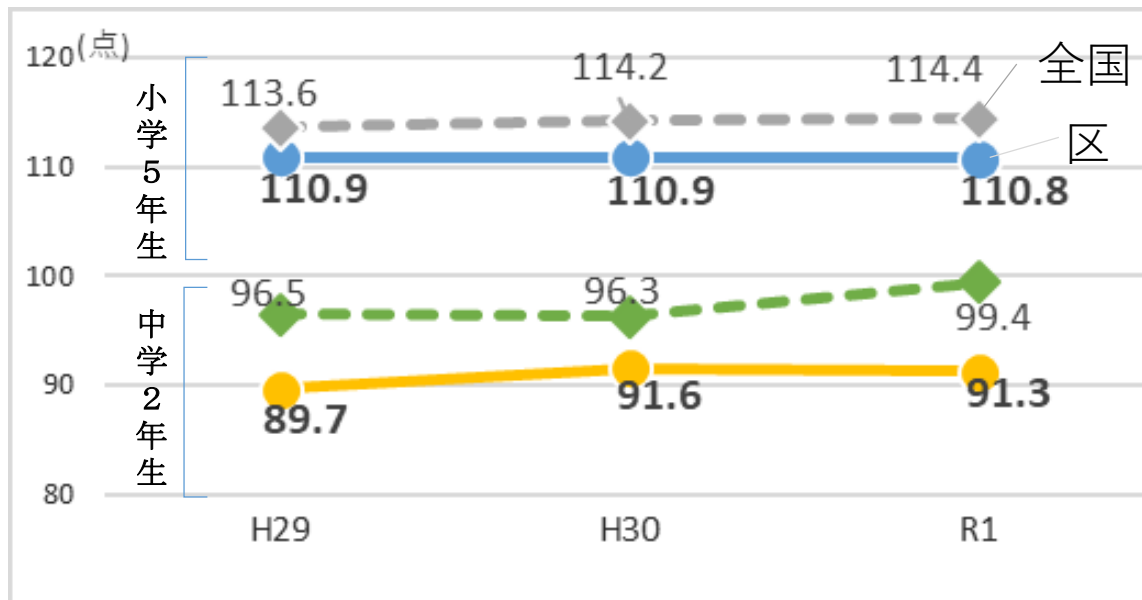
【基本政策1】子どもたちに輝く未来をつなぐ②

【主な現状：教育】

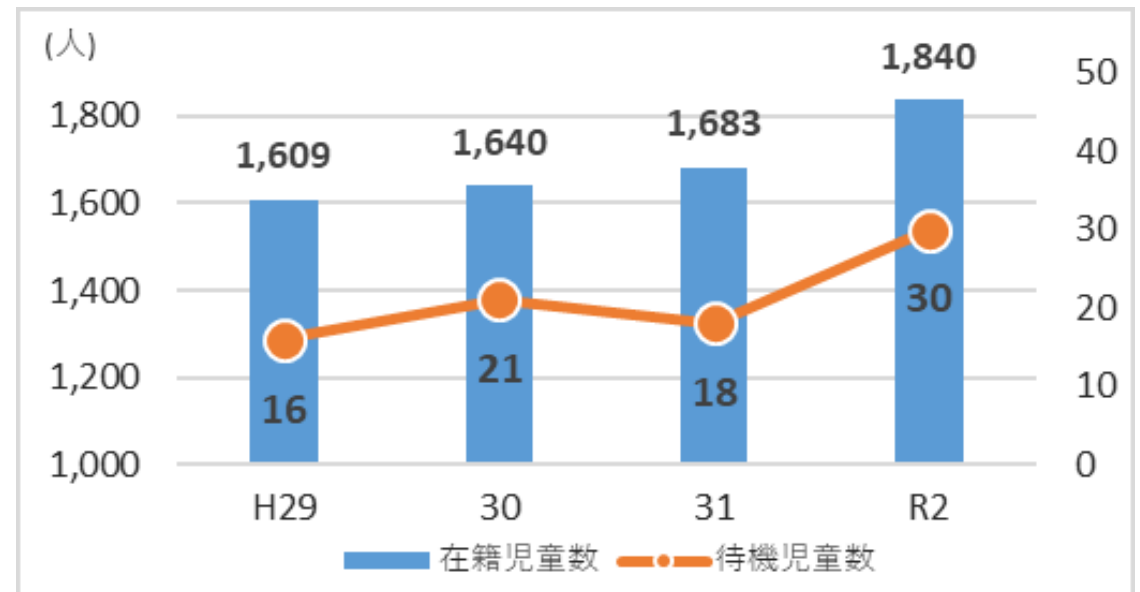


- ◆ 児童・生徒の体力は都の目標値より低い
- ◆ グローバル化や情報化などによる社会の変化への対応が必要
- ◆ 育成室の在籍児童数や放課後全児童向け事業の参加人数が増加
- ◆ インターネットによるコミュニケーションが常態化

【体力合計点の実績値の推移】



【育成室在籍児童数と待機児童数の推移】



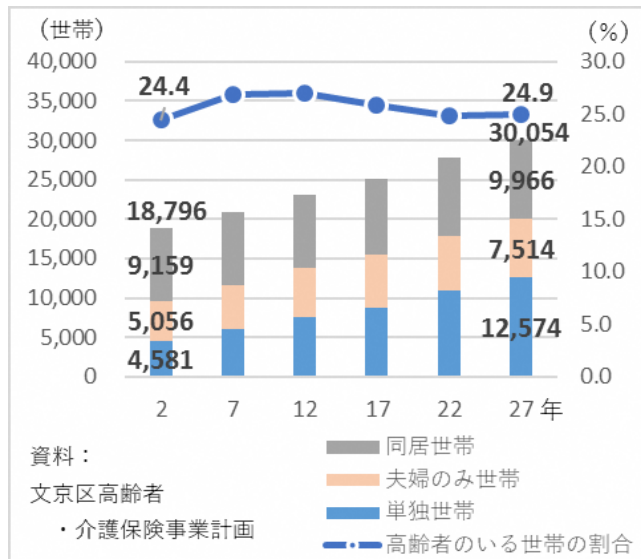
【基本政策2】健康で安心な生活基盤の整備①

【主な現状：福祉】

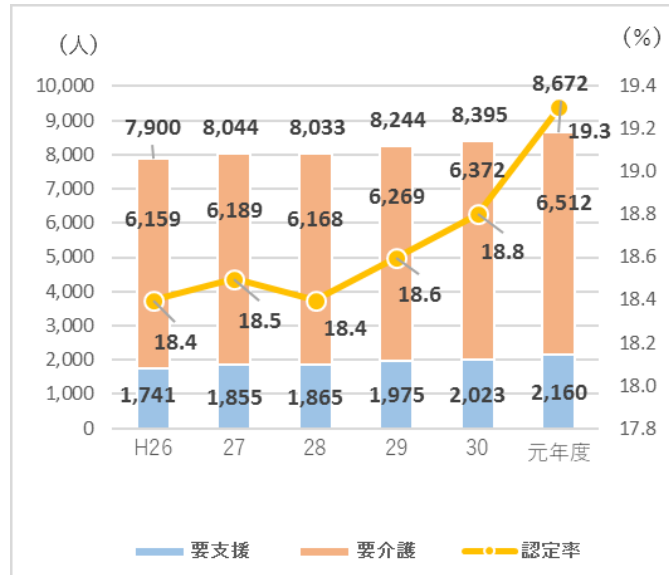
- ◆ 高齢者のいる世帯数は増加傾向（約4世帯に1世帯）
- ◆ 要介護・要支援認定者や認知症高齢者が増加
- ◆ 8050問題やダブルケア、ヤングケアラーなどの課題への対応が求められる
- ◆ 障害福祉サービスの利用者は増加傾向（年間2,000人超）
- ◆ 障害者雇用促進法で定める法定雇用率達成企業数は都全体より低い（約25%）



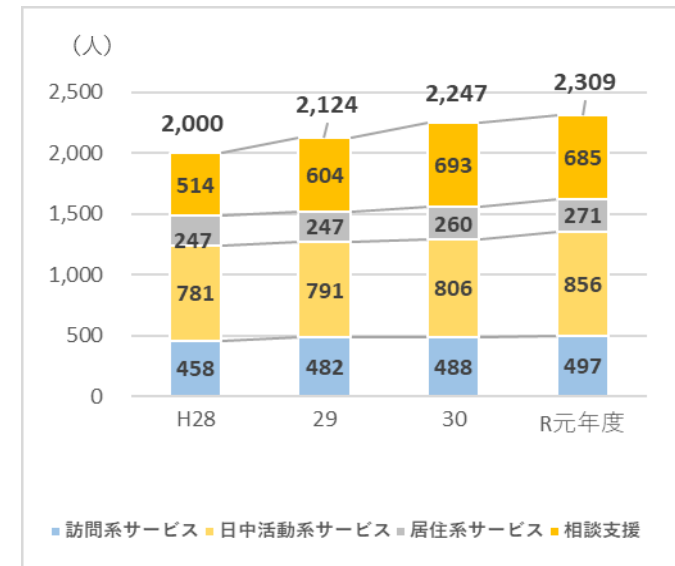
【高齢者のいる世帯の推移】



【要介護・要支援認定者数の推移】



【障害福祉サービス等の利用者数（実人数）】

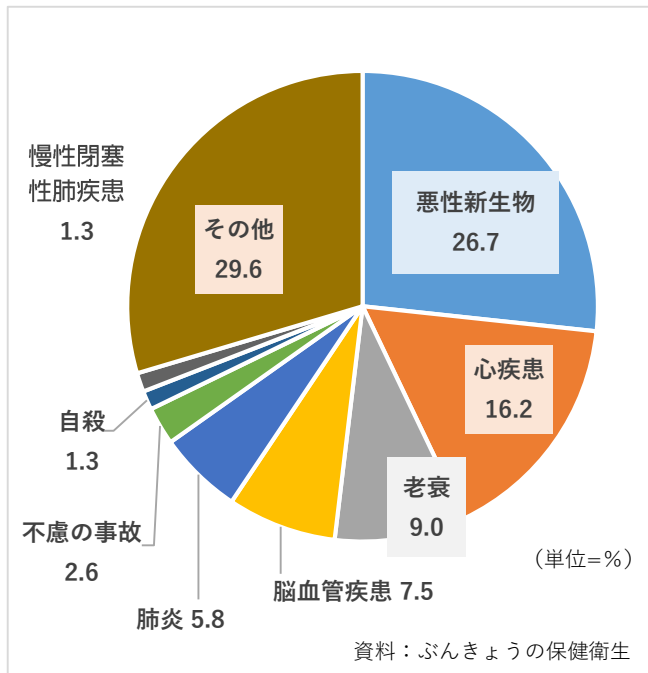


【基本政策2】健康で安心な生活基盤の整備②

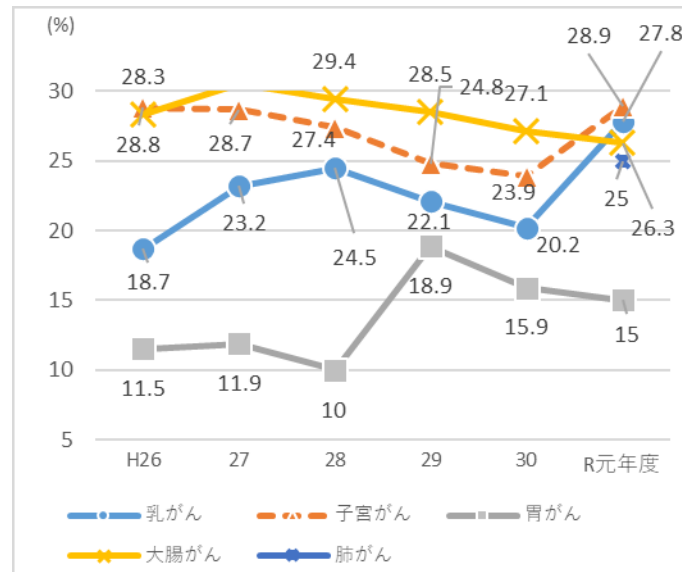
【主な現状：健康】

- ◆ 死因のうち、三大生活習慣病（悪性新生物（がん）、心疾患、脳血管疾患）が約50%
- ◆ 各種がん検診（乳がん・子宮がん・胃がん・大腸がん）の受診率は15～27%
- ◆ 喫煙習慣は全国や都より低い（約12%）

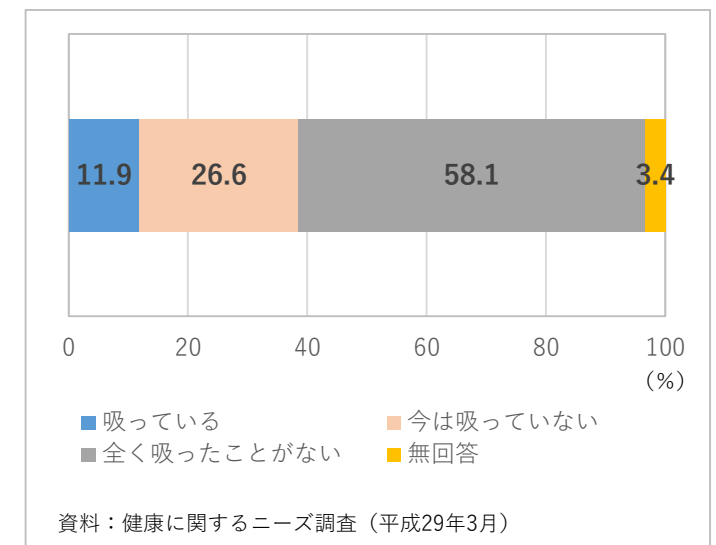
【主要死因別死亡の割合（平成30年）】



【各種がん検診の受診率】



【区民の喫煙習慣】



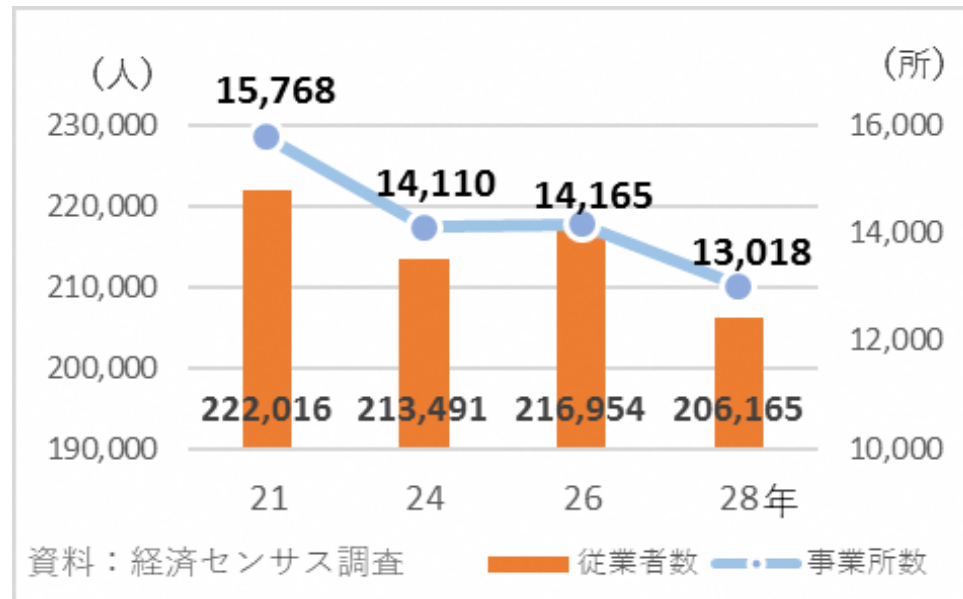
【基本政策3】 活力と魅力あふれるまちの創造①

【主な現状：産業】

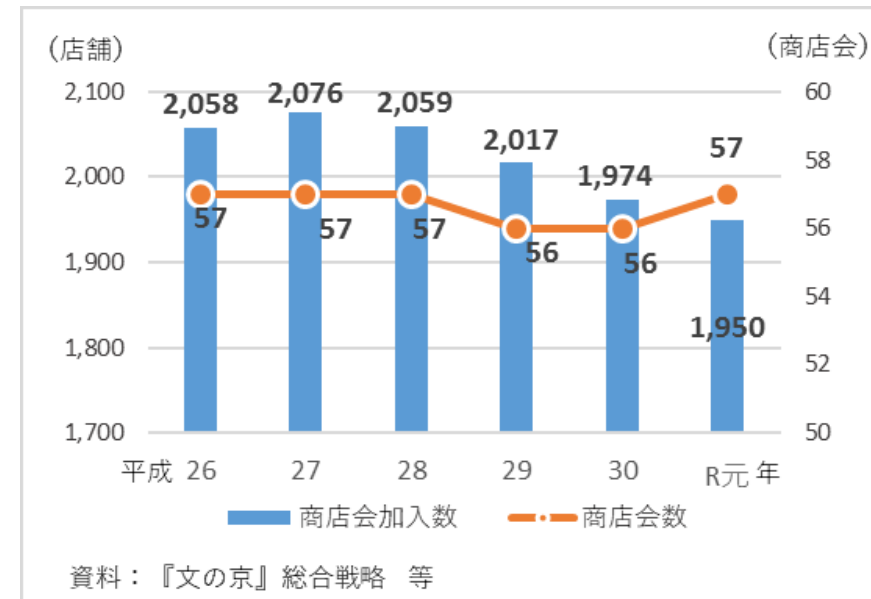
- ◆ 中小企業数は減少傾向（約13,000事業所）
- ◆ 商店会加入店舗数は減少傾向（約2,000店舗）
- ◆ 商店街の抱える主要な課題は「後継者不足」「集客の核となる店舗がない・弱い」など



【区内事業所数の推移】



【区内商店会と商店会加入店舗数の推移】



【基本政策3】 活力と魅力あふれるまちの創造②

【主な現状：文化・観光・交流】

- ◆ ゆかりの文化人や文化芸術発信拠点、文化資源が豊富
- ◆ 観光インフォメーションへの問合せのうち、まちあるきに関する相談が最多
- ◆ 国外3都市、国内12自治体と協定等を締結

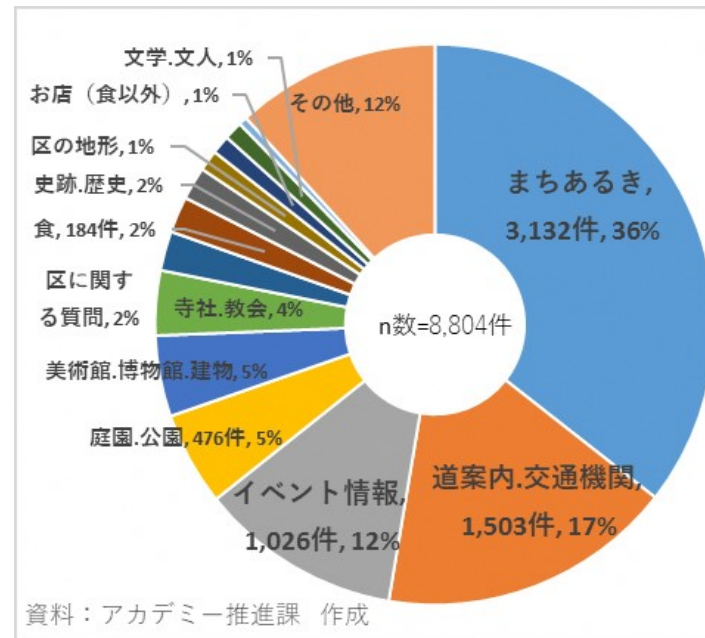


【文の京ゆかりの文化人顕彰事業の実績】

	顕彰対象文化人	実施事業	参加人数
H26	佐藤春夫	朗読コンテスト、史跡めぐり、歴史講演会	607人
H27	谷崎潤一郎	朗読コンテスト、史跡めぐり、歴史講演会	478人
H28	宮沢賢治、高村光太郎、高村智恵子	朗読コンテスト、史跡めぐり、歴史講演会	744人
H29	幸田露伴	朗読コンテスト、史跡めぐり、歴史講演会	924人
H30	横山大観、嘉納治五郎	朗読コンテスト、史跡めぐり、歴史講演会	758人

資料：アカデミー推進課 作成

【観光インフォメーションの相談内訳】



資料：アカデミー推進課 作成

【国際交流都市・国内交流自治体先】

国外	ドイツ・カイザースラウテルン市	
	トルコ・イスタンブール市ベイオウル区	
	中国・北京市通州区	
国内	茨城県石岡市	熊本県熊本市
	新潟県魚沼市	東京都新宿区
	岩手県盛岡市	山梨県甲州市
	島根県津和野町	熊本県上天草市
	福岡県北九州市	広島県福山市
	熊本県	石川県金沢市

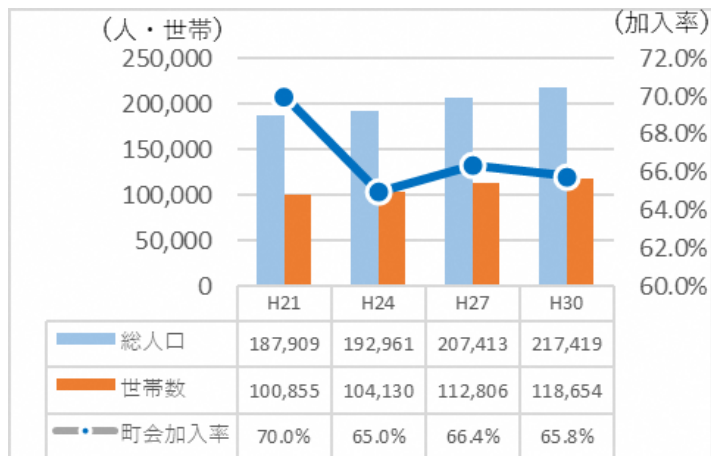
資料：アカデミー推進課 作成

【基本政策 4】 文化的で豊かな共生社会の実現

【主な現状：共生社会・学び】

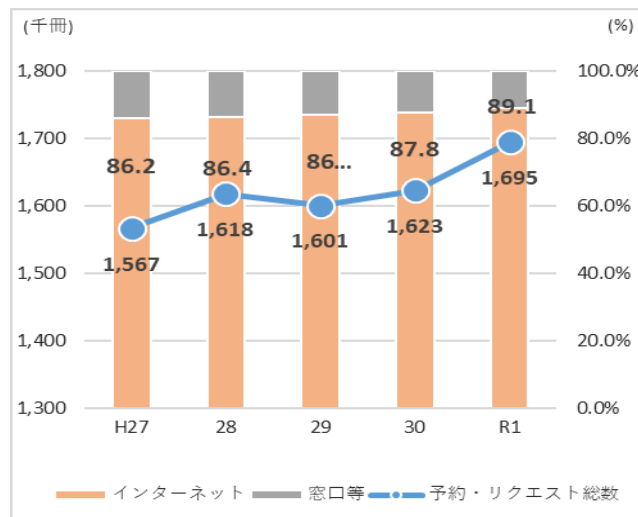
- ◆ 町会・自治会の加入率は65.8%、おおむね年代が高いほど加入者が多い
- ◆ 町会・自治会に期待することとして、「防災・地域安全活動」が最多
- ◆ 図書館の予約・リクエストの8割以上がインターネットを利用
- ◆ 国内外で男女平等参画社会実現のための取組が推進
- ◆ ハラスメント行為や性自認・性的指向への理解不足による差別などの様々な人権課題が顕在化

【人口・世帯数と町会加入率の推移】

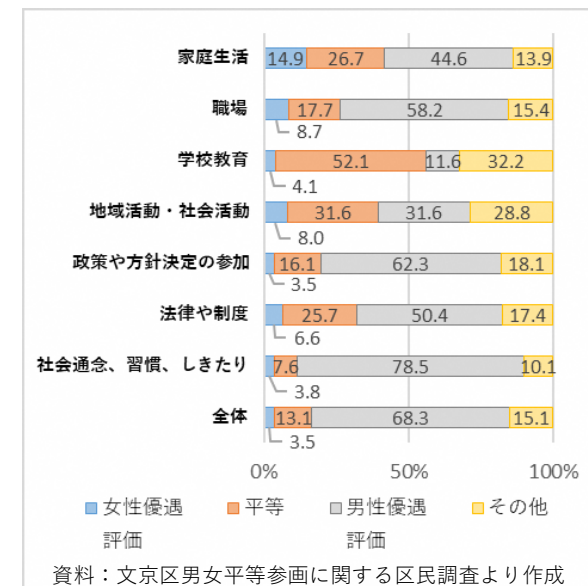


資料：文京の統計・第24回区政運営に関する世論調査

【図書館の予約・リクエスト数等の推移】



【男女平等参画社会を支える意識】



資料：文京区男女平等参画に関する区民調査より作成

【基本政策5】環境の保全と快適で安全なまちづくり①

【主な現状：まちづくり・環境】

- ◆ 数多くの坂道や歴史・文化的資源、豊かな緑、人々の賑わいなど、多様な魅力が溢れる
- ◆ 区民参画による計画的な公園・児童遊園の再整備等を実施
- ◆ 気温の上昇、大雨の頻度の増加など気候変動の影響が現れる
- ◆ 食品ロスや海洋プラスチックごみが大きな社会問題として関心が高まる

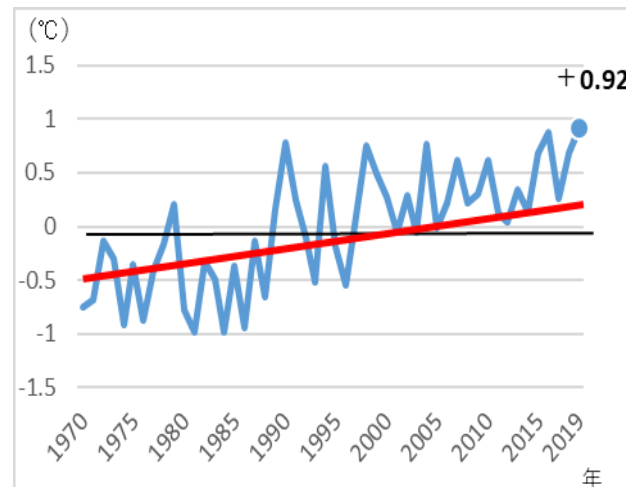


【再整備等を実施した区立公園等一覧】

平成25年度	富士前公園、井上公園
平成26年度	千石公園、丸山新町公園
平成27年度	新花公園
平成28年度	新大塚公園、台町児童遊園、台町第二児童遊園
平成29年度	須藤公園、肥後細川庭園
平成30年度	教育の森公園、真砂児童遊園 関口一丁目児童遊園、根津二丁目児童遊園 駕籠町公園、白山公園、大塚窪町公園
令和元年度	六義公園、大観音児童遊園
現在設計中	お茶の水公園、西片公園、神明都電車庫跡公園

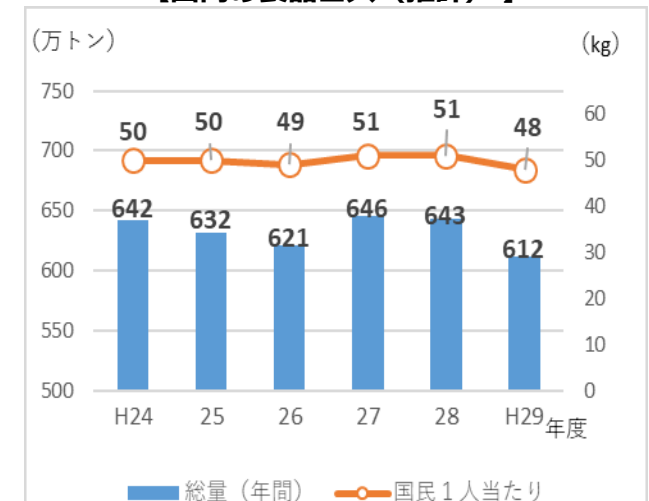
資料：主要事業進行管理 進行状況報告

【日本の年平均気温偏差の経年変化】



資料：気象庁ホームページより作成

【国内の食品ロス（推計）】



資料：食品ロス削減関係参考資料（消費者庁）

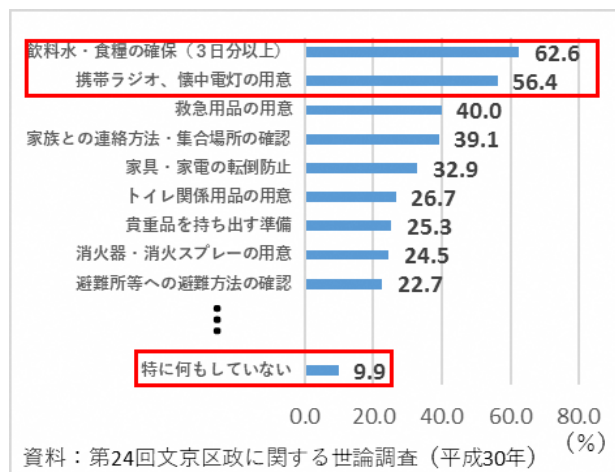
【基本政策5】環境の保全と快適で安全なまちづくり②

【主な現状：防災・防犯・安全対策】

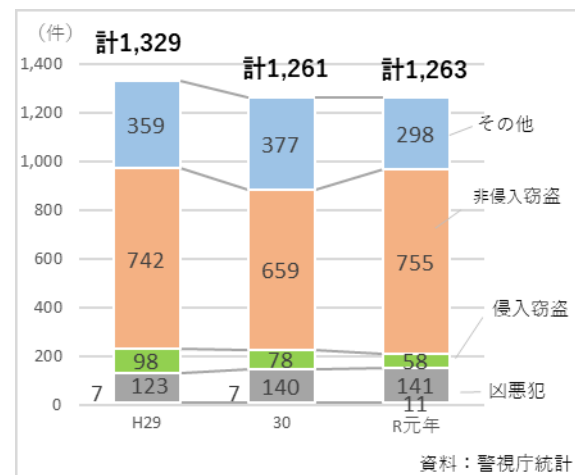
- ◆ 首都直下地震等では、避難所での生活者は約4万人（約8割の区民は自宅等で生活）と想定
- ◆ 災害時、高齢者や障害者、妊産婦等は避難、情報把握、生活手段の確保等の行動を円滑かつ迅速に行うことが困難
- ◆ 刑法犯認知件数は減少傾向で23区最少（年間約1,300件）
- ◆ 特殊詐欺や子どもへの声掛け、つきまとい等が発生
- ◆ 交通事故死傷者数は年間約450人、自転車に関連する割合が増加



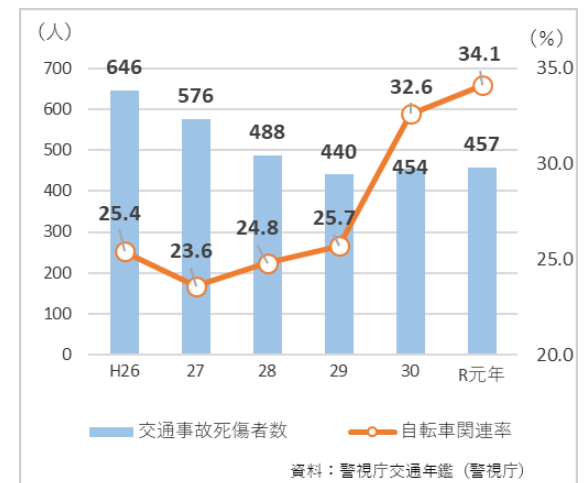
【災害に対する区民の備え】



【刑法犯認知件数（区内で発生したもの）】



【区内の交通事故死傷者数と自転車関連率】



4 『文の京』 総合戦略の進行管理

『文の京』 総合戦略の進行管理

『文の京』 総合戦略に掲げる主要課題の解決に向け、戦略シートに示す「4年後の目指す姿」を実現するための計画事業の実績や社会状況等の変化を「戦略点検シート」により点検・分析し、より効果的かつ効率的な施策の展開等を検討していきます。

戦略点検シートの見方

1. どのような事業で・何をしたか（実績）

2. 社会ではどのような動きがあったか（社会状況等の変化）

⇒ 課題をとりまく社会環境等の変化を把握

3. 成果や課題は何か（点検・分析）

⇒ 計画事業の成果や1・2を踏まえた新たな課題等を点検・分析

4. 今後どのように進めていくか（展開）

⇒ 1～3を踏まえた施策の展開

5. 次年度、事業をどうするか（事業の見直し）

文京区基本構想推進区民協議会の役割

「文の京」総合戦略の進行管理に当たっては、庁内に設置する「基本構想推進委員会」での審議に加え、

「基本構想推進区民協議会」において、住民からの目線や地域活動団体としての立場などから、主要課題の解決に向けた意見を聴取します。